

第6回 新向日市環境基本計画策定委員会 議事録

日時：平成24年4月24日 10:00～11:40

場所：向日市役所 大会議室

<出席者>

●委員

三輪委員、加賀委員、岡本委員、松井委員、佐野委員、戸田委員、金内委員、中村委員、片岡委員、酒井委員

(名簿順)

<欠席者>

上羽委員、川島委員、木原委員、池田委員

●事務局

環境課：中村次長、長谷川課長、紺野課長補佐、小島

コンサルタント：株式会社サンワコン 森、駒野、宅間

<次第>

・ 開 会

1. 委員長あいさつ

2. 審議事項

・ 基本計画素案について

3. その他

・ 閉 会

〈 ・開会 ～ 1. 委員長あいさつ 〉

事務局進行のもと、執り行われた

〈 2. 審議事項 〉

・基本計画素案について

(事務局より資料の説明)

主な意見

- 計画書の数値はいつ時点のものなのか注釈を付けて頂きたい。また緑地以外についても、目標値が平成 23 年と統一されているのかどうか確認をお願いしたい。
- 長岡京大極殿跡とされる門は本来遺跡も何もない西向日公園にあることや、旧街道から現在の道路に移行する際に、歴史的な石灯籠などを全く検証せず位置や向きも移動させてしまった経緯がある。歴史資源の保全のためにも検討して頂きたい。
- 計画書 64 ページの内容の中で、「歴史的検証に基づいた…」などの文言を加えた方が良い。環境関係の計画だけでなく、教育委員会など市全体で検討していく必要がある。
- 今後の活動は、ネットワーク会議で何を議論するのかということが重要になってくる。会議内では実践的な取組み情報発信、計画の進捗評価や環境へのニーズの把握などを行うと良いと思う。
- この計画に盛り込んだ目標が問題なく達成できるのであれば、どのようなチェック体制で管理していくかについて 3 年後など、できるだけ具体的に数字や文言を入れる必要がある。
- 個々の施策について責任の所在を明らかにしなければ、本計画が無駄になる。また現在の担当者が組織を作っとうまく後任に引き継がないと計画が消滅するため注意して欲しい。
- 今後エネルギーの利用形態が変化していく可能性があるが、本市も他市のように地球温暖化対策地域協議会を個別に立てて取り組んでいく必要がある。
- 省エネやごみ削減に熱心な企業や個人の方の講習会や講演会を開き、市全体に取組みを広め、市民まつりで取組み結果の展示を行い、市民が皆で取り組んだという実感を持てると良い。また ISO14001 や KES などを取得することで、環境施策を確実に実行して欲しい。
- 3 年程度のスパンでの監視や検証を行い、新たな目標を立てる取組みを行うことで、市民の参加意識が高まるなどの効果が得られると思う。省エネの考えを広める方法も重要であり、面積の小さい向日市の特徴をうまく利用すれば、効果的な省エネ活動ができると思う。

- ネットワーク会議については早急に立ち上げて、何かしらの行動を起こすことが大事だと思う。計画は毎年見直しても良く、最長でも2年間に一度は見直すべきだ。
- 最近の新築の家を見ても花はプランター程度で緑がほとんどないように思われるため、行政側で規制をかけて、家毎に屋上緑化などの緑を増やす努力をしなければ全体として改善されない。
- 生ごみやグリーンカーテンなど、市民団体が相当力を入れているが、市が率先して熱い思いを持つ市民団体を上手くまとめ、実行できるようにしていかないといけない。
- 向日市に活動できる場が無いのが問題である。ネットワーク会議においても、いかに人のやる気を引き出すかが課題となる。計画書には「協働」や「市と市民が手を取り合う」という雰囲気が出るような書き方をして欲しい。
- トピック欄で取組み内容を知り、実践してみたいと感じた市民と、活動を行っている民間団体とを繋ぐ役割を担っている部署や団体の連絡先を計画書内に記載しておけば、参加への動機付けになると思う。
- 市内のNPO等の市民団体については、市民協働センター「かけはし」という施設があり、寺戸公民館の中に併設されている。そこで登録して頂くことで、情報が発信される仕組みとなっている。

< 3. その他 >

今回頂いたご意見を基にまとめたものを委員の皆様へ郵送させて頂き、その後パブリックコメントに移りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

また、今回の計画には反映や強調しきれなかった皆様からのご意見を「本委員会の思い」という形で記載させて頂きたいと考えております。ご意見等がございましたら5月中旬頃までに寄せて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

< ・閉 会 >

以上